

表現する楽しさや喜びを

2学期も無事に終わり、年末・お正月と大きなイベントが過ぎ、今頃はきっと各家庭でゆっくり過ごしていることと思います。改めて2学期を振り返ると、様々な場面で子どもたちの活躍が光っていました。特別支援学校総合体育大会や障害者スポーツ大会、日頃の作業学習の成果を競い合う技能競技会などはもちろんですが、表現する活動への子どもたちの姿も目を見張るものがありました。

小学部は音楽教室や英語教室、読み聞かせ、体育教室など、様々な地域の先生たちの素敵ナリードに思わず体が動き、心からその瞬間を楽しんでいました。また学部の行事での劇やお祭りなどのイベントで大きな声を出し、楽しみながら自分の役割を果たしていました。中学部はなんと言ってもパワーアップ市で、自分たちが作業学習で一生懸命作った製品を魅力的にアピールし、生き生きと接客して販売する様子に、春からの成長を感じました。高等部はなんと言ってもゆり支援フェスティバル。それぞれの学年のカラーが随所に出た演目。練習の中では協力して考え練習し、本番でも気恥ずかしさを乗り越えて真剣に演技し、その真摯な姿は観客の心をぐっとわしづかみにしました。

また11月はバリアフリー演劇として全国で公演をしている「東京演劇集団 風」の皆様においでいただき、「星の王子さま」を観劇しました。劇団の方からは、「バリアフリー演劇ですから、ただ見るだけでなく、ステージに出たいときは出ても構いませんよ」言われていましたが、小学部から高等部までたくさんの生徒がステージに自ら上がり、スポットライトを浴びてとても嬉しそうでした。一緒に舞台を作り上げたという満足感を味わえたひとときになりました。

はじける笑顔、伸び伸びとしてエネルギッシュな演技、感謝の心を込めた素直で豊かな表現など、思わずその成長や一生懸命さに心を打たれ、気持ちを揺さぶられる、そんな瞬間をたくさん味わった2学期でした。子どもたちの心の中にもきっと残っていることと思います。表現するって楽しい、そんな気持ちが更なる意欲につながることを願っています。

さて、これは終業式の日に出た給食です。なんと調理員の方が一人一人のオムライスにケチャップで顔を描いてくださっていました。本校は知る人ぞ知る、給食がおいしい学校で



いつも手作りの工夫したメニューを味わうことができます。それに加えて、さらにこんな愛情たっぷりの手作りメニューが出てくると、心が温かくなりうれしさも倍増です。2学期最後の思いがけないご褒美に笑顔が給食室に溢れました。手間を惜しまず給食を作ってくださいる栄養士さんと調理員さんに感謝!3学期もおいしい給食でパワーアップできることでしょう。